

お薦めレシピ 禁断の釜揚げ納豆うどん

◆用意するもの

- ①うどん ②納豆
- ③さぬきのつゆ（納豆についているものよりもうどん用だしの方がオススメ）
- ④ねぎ（あれば理想的）



東京都世田谷区の生井ふみ様のおはがきをヒントに考えました。

◆調理方法

1. 充分に沸騰しているお湯の中にうどんを入れる(100g当り1tbsが理想)。
2. どんぶりに納豆を入れかき混ぜ、「さぬきのつゆ」を適量入れる。
3. 8~9分経過したら鍋の中のうどんを少量(二口、三口分くらい)そのままどんぶりにとる。
4. ねぎを適量入れ、納豆をまぶしながらうどんを食べる。
5. うどんがなくなったら、また次のうどんをどんぶりにとり、食べる。このとき味が薄くなれば「さぬきのつゆ」を補充する。
6. うどんがなくなるまで続ける。
7. 最後に納豆だけが残っていたらそれをきれいに食べる。

◆ポイント

1. 釜揚げうどんは、釜の中に置いておける時間が長いのが利点です。つまり、8~9分経過すれば食べ始めることができ、また20分経っても食べることができます。よって少量ずつとりだしながら食べれば、最後まで揚げたて直後の味を楽しむことができます。
2. 「さぬきのつゆ」は最初にたくさん入れるとしゃっぽいので、適量を入れ薄くなるにつれて補充します。

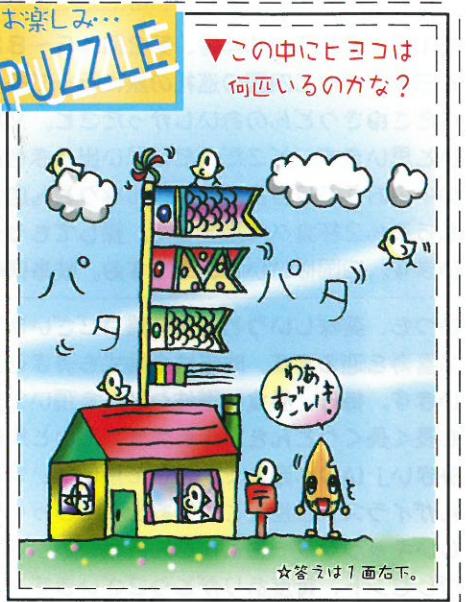
注意:これは鍋の前に立ったままで食べるとっても行儀のわるい料理です。もちろん女性の方でもおいしく召し上がれます。必ず一人で調理してください。他の人がこの光景に遭遇するときとびっくりすると思います。尚、応用としてはテーブルの真ん中に大きな鍋を置き、鍋物の感覚で食べると、皆さん気兼ねすることなく召し上がれます。

編集後記

先日ある量販店のバイヤーとお話しする機会に恵まれました。お恥ずかしい話ですが、普段、スーパーの食品売り場にはいかないので、何が売っているのかよくわかりません。でもお話を聞いていると、「なるほど」と思ふことがいくつもありました。例えば、他の商品同様、麺類についてもコンビニ化が進んでいて絶えず新商品が投入されていること。つまり従来商品のうどん玉に加えて、ひとつのパックの中にうどんから具、薬味すべて入っていて、すぐに食べられる新商品が次々に登場しています。いわゆる調理麺といくジャンルです。具材についても若年層に受け入れられるように常に変更されています。▲売り場面積が限られているコンビニではその傾向が一層顕著で、特に人気のあるカップラーメンでは絶えず凄まじい入れ替え戦が繰り広げられています。商品はPOSデータで常に管理され、売上が落ちると、すかさず他の商品に取って代わられます。▲そりゃ厳しい競争の中、カップラーメンの新製品は次々と投入されます。いま日本では900種ほ

どのカップラーメンが出回っているそうですが、いくらラーメン通といえどもこれらすべてを言い当てる人がいるとは思えません。そもそも私にはそれだけの品名を覚える自信がありません。▲反面、当社の商品は乾麺という伝統的食品が主体のせいか、あまりモデルチェンジをしません。中には発売後、50年を経過したうどんもあります。もちろんその間に製粉技術が進歩し、製造方法も改良されました。基本的に同じです。企業努力がたりないと言わなければそれまでですが、巷の商品群とは変化のスピードが違うのは事実です。▲不易流行とは松尾芭蕉の言葉で、流行とはその時々で変わること、その根底にある基本もしくは本質は不变である(というところらしいです)。それを食品に当てはめ解釈すると、姿形は変わっても、求めるものはおいしくて健康的なものになるかも知れません。特に飽食の時代を迎え、食の安全・安心が求められる今、尚更そりゃ本質を求めることが大切なかもしれません。

けいぞく



☆その他のおすすめレシピ☆

玄米うどんをミートソースで洋風にする
と最高。埼玉県川口市・松村進様

夏はさっぱりつけ汁(なす、たまねぎ、トマト入り)がオススメ。このときトマトがポイントです。 東京都府中市・藤田由紀子様

「青瀬戸の糸」の大ファンです。硬めにゆで、ネギとににくをみじん切りにして、しょうゆ味で炒めると最高(チャンブル風)。またサラダにしても、ドレッシングとかマヨネーズであってもよし。 千葉県松戸市・横田敬子様

みんなでみまい

VOL. 10 <2004年：夏号>



一発行
ファリーナ
コーポレーション
香川県坂出市高屋町1150-5
TEL 0120-16-4591
FAX 0120-36-4591
<http://www.farina.co.jp>

ゆでた麺の重さは、麺の太さやゆで時間にも大きく影響されます。一般に、そくめんは細いので中心部分まで水分が浸透しやすく、その分重くなります。太いうどんはその逆です。またゆで時間を長くすればするほど、水分が浸透して重くなります。▲では、実際にどのくらいになるか実験してみました。太いうどんは100gゆでると、少々硬めだと約260g、普通だと約300gになりました。同じうどんでも細い方が、当然早くゆで上がり、また表面積が大きい分重くなります。そくめんの場合には300gを超えてしまいます。▲同じうどんでも、完全には乾燥させていられない「半生うどん」は240g、「生うどん」にいたっては200g程度にしかなりません。これは元々うどんに含まれている水分が乾麺に比べて多いためです。一般に乾麺に含まれている水分はうどんが14%、そくめんが13.5%程度です。これが半生うどんになると、22~27%程度になります。手打ちうどんだと40%近くまで高くなります。大雑把ですが、乾麺はゆでると約3倍、生麺は約2倍と覚えておくと便利です。▲ところで、よくうどんのコシという言葉を耳にしますが、これはうどんに含まれる水分に着目するところのように説明できます。釜揚げ直後のうどんは中心部分の水分が約50%であるのに対し、表面近くは約80%近くにまで上がっています。この水分の差により、最初噛んだときは軟らかいけれど、内側は硬くその差がうどんのコシと



なって感じるわけです。少し矛盾した表現になりますが、「軟らかい中にもコシがある」というこのさぬきうどん独特の表現はこくりとうことを意味しているのです。ゆでたうどんは放っておくと水分の移動が起り、やがて均一になります。これがいわゆるうどんが「のびた」状態です。また、ただ硬いだけのうどんというの、水分差がなく、時にこれをうどんのコシと勘違いする方もいます。

★答は
300グラムです。

スタッフ紹介

今回は、包装担当の三野富美子を紹介します。

(自己紹介) 平成四年の七月頃から製麺の包装場で、楽しく働かせていただいている。うどん大好きの私が麺に囲まれての仕事は、人生の生きがいの一つに感じています。後輩も大勢できました。職場の人々は、私の第二の大家族です。▲常に思いやりの心を忘れず、大家族の和が保たれることにより、より良い製品が生まれると思っています。これからも大好きなうどんを沢山食べて、元気で、楽しく仕事ができるように頑張っていきます。

(社長より一言) どこの職場も同じですが、働く人が多くなる程、人間関係が大切になってきます。個人として話しているときは何の問題もないのに、大人数の中では、ギクシャクする人もいます。その度に人間関係はつくづく難しいと感じます。三野さんはそりゃうどんを沢山食べて、元気で、楽しく仕事ができるよう頑張っていきます。

